

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第3回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○ 地域活性化の方向性について

(2) 自主的審議事項（公開）

○ 二貫寺の森の活用について

(3) その他

3 開催日時

令和5年7月27日（木） 午後7時から午後8時15分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：川上俊一、川上奈津子、川上久雄（会長）、西嶋明子、服部幸雄、
堀川悦郎、山岸 愛、山岸真也、山田勝也、山田哲平（副会長）

（欠席2名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容

【渡邊係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【川上会長】

- ・会長挨拶
- ・会議録の確認：山岸真也委員に依頼

次第 2 議題「(1) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

前回の続きで、アンケートの結果を見ながら進めさせていただく。

このアンケートは、「二貫寺の森の活用について」と「地域活性化の方向性について」の二本立てで構成されている。前回の協議会では、「地域活性化の方向性について」の話を進めていた。協議会の案と地域の意見との整合を図る作業になる。本日は地域活性化の方向性について、協議を進めていただきたい。

【川上会長】

今ほどの説明について質問、意見を求める。

(発言無し)

本日は全員から、前回協議会資料No.1（アンケート結果）の 7 ページ、「地域活性化の方向性について」の感想や意見を言っていただく。全体テーマ、構成要素に関してはその後調整するが、まずは感想でも、地域活性化の方向性や個別の構成要素についての意見でもよい。協議の参考にさせていただきたい。

【川上奈津子委員】

私自身、アンケートをお願いされた場合、意見や提案を自由欄に書くのは得意でないが、これを見ると、自分の考えを持って記入している方が多く、とても良いことだと思う。全体的に同じようなことを考えている方が多いと感じた。

あと、7 ページに「無駄な努力は止めましょう」とあり、そういう意見の方もたくさんいると思う。アンケートを実施した意味はとても大きかった。

【西嶋委員】

私もこのアンケートの結果を見て、地域に興味を持っている方が多いと感じた。

年代別に見てみると 10 代が 6 人。小学生にアンケートを配布したのだろうが、やはりみんながみんな答えてくれたわけではないようだ。保護者や先生方の協力をいただけたし、地域について興味のある方がいてくれるのが、すごく良かったと思う。

また、「無駄な努力は止めましょう」という意見もあった。何もしなくてもいいじゃないか、現状維持でいいじゃないかという方も多いと思う。一方、一番下に書いてあるように「各団体が協力して、地域の課題に取り組むことが必要。このままでは諏訪地区は消滅する」という意見もある。いずれそうになってしまう、何もしなければそうなる考えると、ちょっと怖いと思った。

「諏訪区に立地する二貫寺の森や、田園地帯ならではの景観と親しみやすい人柄をいかして、地域内外の人が住みたい・住みたいと思えるまちを目指します」ということを基に地域活性化を進めていければよいと感じた。

【服部委員】

アンケートの回答数が少なかったというのが第一印象。視野を広げ、地区の各団体の方と話し合わなければ、地域協議会の協議だけでは結果が見えている気がする。できるだけ多くの団体を巻き込み、同じ目標に向かって進むのがよいと思う。

【山岸真也委員】

諏訪地域全体の皆さんの意見を聞きながら、活性化に向けて行動するのがよいと思う。それには町内会長を通じて町内の意見をまとめ、話し合うことが大事である。

【山田勝也委員】

アンケート用紙を 106 枚配布して、回答数が 76。そのうち紙回答が 44 枚だが、これは回収方法に問題があったと思う。町内会長を通せばその町内の配布枚数がわかるし、全数回収の協力をお願いした方がよかったのではないかと考えた。

それともう 1 つ。12 ページの問 7-5 「防災力の向上」の回答で、「自主防災活動の強化（避難訓練の実施など）」が 35.5% だった。この数字を見て、諏訪区で防災訓練を実施した方がよいのではないかと考えた。主催が消防団か、防災士会かは別にして、私の記憶では、諏訪地区全体での避難訓練はまだ 1 回しか実施していないと思う。また、同じ設問で「地域情報の収集・周知（避難所、ハザードマップなど）」という項目が、各世帯にマップが配られているにもかかわらず、56.6% もあった。

市が配っていても、あまり見ていないのだと感じた。

【山田副会長】

アンケートは、やってよかったというのが1つ目の感想。いろんな意見があるのは当然だと思うし、逆に無いと、皆さん諏訪について何も考えていないのかなと思ってしまう。先ほどから意見が挙がっている活性化のところ、無駄な努力とか、諏訪地区が消滅するとかいうのは、皆さんの本当の気持ちが書かれており、これはこれでとてもよいことだったと思う。ただアンケートを取っただけとするのではなく、これをどう生かすのかがこれからの課題だと思う。いろいろ協議することもあると思うが、むしろ、先ほど意見のあった各団体との協議等も含め、どういう形で進めていくかを早めに協議できれば、このアンケートの結果について諏訪区の方に報告ができると思う。

【山岸愛委員】

76人の回答のうち、若い世代がもう少し多く答えてくれたらよかったと思うが、若い世代が少なく70代が一番多いという結果は、諏訪区の現状が浮き彫りとなったということだと思う。

この結果を公開する予定はあるか。これを書ってくれた人たちは、他の人がどう思っているかを知る機会はあるのか。公開されれば、より関心を持ってもらえるだろうし、少なくとも答えた人は、他の人はどう答えたのかを知りたいと思う。機会があれば、公民館に掲示するとか、回覧等をしてほしい。諏訪の皆さんがこの結果を知ることによってアンケートをとった意味があると思う。私たちは、これを今後の協議の材料にするとして、もっと多くの人に皆さんの意見が目で見えるとよい。家で話し合う機会があってもよいと思う。

【渡邊係長】

アンケートの結果については、「地域協議会だより」を回覧することで、地域の皆さんにお伝えしたいと考えている。その際、地域協議会でこんなふうに意見を反映したとか、地域協議会でどう活用したかなど、一言でも添えたいと思い、協議の後に提案する予定としていた。また、公民館にアンケート結果の掲示や、「地域協議会だより」に載せきれないものを置かせてもらえたらと考えている。このほか、

市のホームページに地域協議会の会議資料として結果が掲載される。

【堀川委員】

特に二貫寺の森に関しては、協議会委員とおおむね意見や考え方が一致しているものが多い。このアンケートに書かれていることはすごく重要で、大きく分けて3つぐらいに分かれている。まず、二貫寺の森を整備する。2つ目に、イベントを行う。3つ目には、そうならないで欲しいと思うが、何もしないと。アンケート結果を踏まえながら、今後、考えていけばよいと思う。

【川上会長】

今、いろいろな意見をいただいた。私も皆さんが言われたとおりだと思う。初めてのことであり、事務局と協力して、こういう形でアンケートを行った。回答数が多いか少ないかは何とも言えないが、地域の皆さんから協力していただき、その結果を皆さんにも知っていただいて、何か今後の役に立てればと考えている。

先ほどの意見にあったように、最近、各種団体と協議をしていない。以前は、他の団体や町内会長も含めて行っていたが、ここのところ全然なかったもので、これは反省材料だと思う。この後の議題になるが、二貫寺の森の活用の中で協議する時には、町内会長を含め、いろんな方から出席していただきたいと思う。

それと余談だが、9ページの「景観の保全」で「はさ木の保全活動」が40%だったが、そこに看板が設置された。「上越の宝・はさ木」という大きな看板があるので、ぜひご覧いただきたい。設置に立ち会ったが、立派な看板である。八本桜の方も看板を立てようとしたが、場所が悪いので、桜が咲く時期を見計らったのぼり旗を立てる予定である。駐車場が無く、畑等があり、あまり入られても困るが、PRをしなければならないので、とりあえずのぼり旗を立てようと思っている。

それでは皆さんからの意見をもとに、一つずつ決めていきたいと思う。前回資料の7ページに基づき進める。

○ 1 自然環境の保全…市民の森「二貫寺の森」をいかした環境教育と余暇活動の促進

【川上会長】

アンケート結果から、この文言でよいか、もう少し文言を加えた方がよいというようなご意見があれば、発言していただきたい。

【山岸愛委員】

アンケートの結果は、「保全活動」の割合が一番高いが、構成要素の文言は環境教育と余暇活動の促進とあり、保全の次の段階に行っていて、保全を前提としている。余暇活動をする前に何かやることがあるのではないか。PR活動、子どもの自然教育、余暇活動もあるが、ここに至るには、もう少し保全活動を行う必要がある。急に余暇活動を促進されても、正直、今の二貫寺の森の状況ではハードルが高過ぎる。この文言でどうかと言われれば、保全活動の促進を訴えた方が近い気がする。

【川上会長】

文言に「自然環境の保全」と入っているが、具体的には、二貫寺の森をいかした環境教育ということか。

【渡邊係長】

「自然環境の保全」の部分は、カテゴリー分けであり、参考に配布した令和4年度第8回の会議資料を見ていただくと、このカテゴリーは書いていないので、構成要素の文言として出てこない。

【西嶋委員】

「環境教育や余暇活動の促進」の前に、草刈りや沿道整備をやらないと難しい。保全はあった方がよいと思う。

【山岸愛委員】

市民の森「二貫寺の森」の保全と、それをいかした環境教育と余暇活動の促進、という形であればよいと思う。保全を足すだけでも納得できる。

【服部委員】

現状を保全するということは、二貫寺の森は現在、藪になっているので、再生という言葉の方が合うと思う。

【川上俊一委員】

藪みたいな森にもう少し手を加えて、使いやすいようにしていくという意味の言葉がよいと思う。

【山田副会長】

いろいろな言い回しがあり、それを選ぶのはこの場ではないので、次回、事務局

から案を示してもらい、皆さんで選ぶのが早いと思う。ここで議論しても、全然先に進まないし、その言葉の意味も正確にはわからないところもあるので、そこは事務局にお願いした方がよいと思う。

【渡邊係長】

宿題とするのに、皆さんからもう少しヒントをいただきたい。今のお話の中で、もう少し手を加えて、使いやすくするというニュアンスでよろしいか。

【川上会長】

整備とか保全という言葉を入れつつ、里山は人間が手を加えることで保たれると聞いているので、二貫寺の森が里山になるのか、本当に自然の森なのかは何とも言えないが、どういうふうにしていくかは今後の課題だと思う。

【渡邊係長】

こんな言葉の向きでということだけは、今日の協議で、意見を一致させてほしい。

【服部委員】

当初、環境整備を目指すことが目的だったと思うが、何年か前に町内会長が集まった際の議事録に「二貫寺の藪」という表現が残っている。森ができた当初は綺麗だったと思うが、「保全」が「今を保つ」という意味だとすれば、今を保っても仕方ない。

【川上会長】

どこまで草刈りをするか。通路だけではなく、草がボウボウでは入れないし、森の中にも入れるよう、手を加えてもいいと思う。ただ、我々だけで話しても結論は出ないので、いろいろな団体と協議して進めるべきだと思う。そういうことを含めた言葉を入れて欲しいということだが、他に何かあるか。

【堀川委員】

諏訪区の皆さんが行きやすい、雰囲気の良い森を目指していくということで、環境整備を必要とした何か言葉を取り入れてもらえばよいと思う。

【川上会長】

誰でも行ける、行きやすい森、そういう環境にして欲しいということを実現する言葉でお願いしたい。自然環境の保全についてはそれで進める。

○ 2 景観の保全…農村地域の美しい景観の維持と調和のとれた地域づくり

【川上会長】

アンケートの結果は、はさ木の保全活動、ヒマワリの植栽や白鳥の飛来地をいかしたビュースポットづくりが、非常に意見が多かった。具体的な言葉を入れるか。

【川上奈津子委員】

はさ木の保全活動とかヒマワリの植栽、白鳥の飛来地など、やはり諏訪地区の目玉になるような具体的な言葉を入れた方がよい。アンケート結果で言えば、ヒマワリの植栽や白鳥の飛来地の割合が一番高いので、その辺を文章の中に入れたらよいと思う。ただそれでも文章が長くなってしまう。

【川上会長】

地域の宝という言葉を入れてはどうか。諏訪には地域の宝が3つあるので、地域の宝を保全するという言葉が入ってもよい。

【山田副会長】

確かに宝という言葉もいいと思うが、やっぱり具体的に諏訪区はこんなものがあるという方がわかりやすいと思う。現状だと美しい景観、美しい景観とは何だという話になるが、であれば、はさ木とかヒマワリ、白鳥の飛来となると、やはりここだけではなく、他の地域もあるので、そこを絞っていくと、必然的に言葉は減ると思う。

【堀川委員】

はさ木は今、実際どのぐらい活用されているか。

【川上会長】

活用されていない。景観だけ。

【堀川委員】

木が列になって生えているだけで、現状は稲を干していない。はさ木は、刈った稲を干すためのものであり、この状態では、はさ木とは言えない。現状は、あまり好ましくないと思う。

【川上会長】

以前は、小学5年生が2年に1回、はさ掛けをして景観づくりをしていた。ホー

ムページにも写真がある。できるかわからないが、米岡町内の役員の間では、復活させるという話が出ている。道路に面しており、実際に掛けられるか。協力いただける農家を探すことや刈り方等の課題はあるが、行う方向にはなっている。去年、伸び放題のはさ木を綺麗に剪定したが、それが逆に、先から芽が出る前に木全体から芽が出てしまい、それを切らなければと話している。また、他の団体に協力をお願いすることも考えている。あまりPRしない方がよいか。

【堀川委員】

そういうのを目指して今後、頑張っていくということならば、別に入れてもよいと思う。

【川上会長】

はさ木やヒマワリを入れた案で次回、協議する。

○ 3 歴史文化の保全…地域の伝統や先人「芳澤謙吉」翁の顕彰と継承

【川上会長】

アンケート結果で意見が多かったのは、「子どもから高齢者まで一緒に楽しめる場の提供（ものづくり、伝統継承、話し場など）」ということだが、以前、二貫寺の森で高齢者から昔の子どもたちの遊びを教えてもらおうという話があった。これも地域の伝統になると思う。これはこのままでよいか。

(よしの声)

○ 4 福祉の充実…子供から高齢者まで安心して暮らせる支え合いの機運の醸成

【堀川委員】

最後の「機運の醸成」という言葉はちょっと難しすぎる。もう少し誰でもわかるような言葉にした方がよい。

【山岸愛委員】

文字から想像できるが、方向性とする時に諏訪の老若男女、いろいろな方が目にするとしたら、確かに他よりは言葉遣いが専門的というか、お役所っぽい、堅苦しい感じで、何となく他人ごと感が出てしまう。「安心して暮らせる支え合いの強化」のようにわかりやすい言葉に変えてはどうか。

【服部委員】

「地域の支え合い」にしてはどうか。

【川上会長】

今の意見をもとに、事務局に整理をお願いする。

○ 5 防災力の向上…安心な暮らしのための地域防災力の向上

【川上俊一委員】

この言葉で良い。

【山岸真也委員】

文面からして「の」ばかりで、もう少しすっきりさせた方がいい。

【川上会長】

今の意見をもとに、検討する。

(よしの声)

○ 6 人口減少対策…地域のつながりをいかした移住・定住の促進

【山田副会長】

「地域のつながりをいかした移住・定住」という文言が、私にはピンとこない。例えば、団地やアパートができることが前提であればよいと思うが、空き家をPRするにしても、諏訪区でやるのか、市でやるのかというのもあるので、他にも何か文面があるなら変えた方がよい。

【山岸愛委員】

アンケート結果で、「子育て環境づくり」も意見がある割には、子どものキーワードが入っていない。あとは移住・定住の促進には、つながりよりも地域の魅力だと思い、魅力が何かというと二貫寺の森や自然等になる。11ページの「4 福祉の充実…」にもつながっていくと思うが、地域のつながりというキーワード自体が何となく漠然としている。子育て環境の促進にも力を入れ、子どもたちが何か楽しいと思えるような活動や、住みやすいと思えるような環境づくりを行うならば、子どもたちや地域の魅力を発信するキーワードが入ってもよいと思う。

【西嶋委員】

地域がつながっていて欲しいと自分は思うが、漠然としていて難しい。

【川上会長】

つながりという言葉は必要か。

【山岸愛委員】

つながりという言葉が弱い。

【川上俊一委員】

もう少しインパクトがある言葉の方がよい気がする。

【堀川委員】

移住・定住の促進だけが人口減少対策ではないと思うので、もっと別な角度でもよいと思う。

【山岸愛委員】

つながりを生かすなら、諏訪の良さは人口も少ない分、ここに集まる人も多く、すこやかサロン等もあるし、健康維持活動という意味でいったら、他の区より密接だと思う。健康維持活動に10人が回答していることを考えれば、移住・定住にプラスして、つながるからこそできる健康維持活動、健康な人を増やすという意味での健康維持活動についての言葉を足したらよいと思う。本当はそこに子育ても入れたいが、多過ぎるとまとまらなくなる。外から人を呼びたいのもあるが、諏訪だからできる、すこやかサロンとか健康ウォークのような、みんなでできる、支え合いの維持活動も魅力の一つだと思う。それを上手く健康維持につなげて、施設もたくさんあり、高齢者が住みやすいことも、入れたらよいと思う。

【川上会長】

逆に地域という言葉は無くてもよいと思うが。

【川上奈津子委員】

私自身、運動普及推進員を務めていて、健康ウォークや健康体操などの活動をしている。実際に食生活改善推進員の方もいらして、以前私が理事の時に市全体を見たことがあるが、諏訪地区は他に比べて活発な方なので、健康維持活動に関しては、この地域は自信を持ってよいし、その文言を入れてよいと思う。

【渡邊係長】

確かここでいう健康維持は、現在住まわれている方にいつまでも健康で長く暮らしていただきたいということと、外から来られた方からもできるだけ長くいていた

だき定住に結び付けたいという意味があって、この選択肢にしたと思う。その辺りをバランスよく取り入れるということによいか。

【川上会長】

移住・定住にこだわらなくてもよいと思う。次回まとめて決定したい。

以上で次第 2 議題「(1) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に、次第 2 議題「(2) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」入る予定だったが、次回に行うこととする。

次に次第 2 議題「(3) その他」に入る。

何か意見はあるか。

(発言無し)

発言が無いようなので、以上で次第 2 議題「(3) その他」を終了する。

次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・次回の協議会：8月31日（木）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室（予定）

・内容：地域活性化の方向性、二貫寺の森の活用について

【川上会長】

以上で次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」を終了する。

次第 3「その他」の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【西嶋委員】

すわっ子クラブの活動予定について、7月30日の日曜日に森遊びということで、二貫寺の森で活動を行う。

【渡邊係長】

二貫寺の森に関して、農林水産整備課が砂利を入れる約束をしていたが、8月3日に作業に入るとのこと。梅雨時期の雨が乾かないと入れられないことから、この

時期になった。昨年度、皆さんが意見書をまとめ、提出した成果の一つである。

【川上会長】

他に何かあるか。

(発言無し)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail: chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。